

断熱重視の住宅造り

八戸市のミゾエホームは、断熱性能を重視した住宅造りに力を入れている。営業エリアは青森県南、岩手県北。住宅の新築からリフォームまで行う。最

近は断熱に関係したりフォーム相談が増加しているという。

溝江一智社長(三)は「八戸地域は冬場がとても寒い。暖かい家に住みたいと考えている人が多い。このため、住宅にはしっかりとした断熱性能が求められている」と説明。「熱が逃げない住宅にするので暖房費を抑制できる。二酸化炭素排出量の削減にもつながる」と断熱性能へのこだわりを持つ。

1968年に溝江建設として創業。2008年10月に住宅部門を継承する形で、ミゾエ

49

北奥羽 企業通信

ミゾエホーム

(八戸市)

〇メモ

所在地は八戸北白山台4の1の16。溝江一智社長。従業員数5人。ホームページは mizoe-home.com。補助金についての問い合わせは、新住協青森支部事務局(電話0176(23)7111)へ。

ホームを設立した。

同社が建築する住宅は、国の断熱基準の最上級である「次世代省エネルギー基準」をクリアしている。地域の

日照時間や気温などを基に、適した状態になるよう断熱計算するプログラムを導入し、徹底した姿勢で臨む。

同社はNPO法人「新木造住宅技術研究協議会」(新住協、仙台市)に加盟。高断熱高气密住宅を開発、推進



国の補助金が出る断熱と耐震のリフォーム工事をPRする溝江一智社長

している技術研究団体で、北海道、東北地方を中心に約750社、青森県内では約60社の会員がいる。

同NPO法人の断熱と耐震を併せた同時改修プロジェクトは、国の10年度長期優良住宅先導事業に採択された。10年度内に全面的な改修工事を会員企業が行う場合、工事費の3分の1、最大200万円の補助金を受け取ることができるようになった。

溝江社長は「リフォーム工事で200万円の補助金は大きい。長年住んだ家で建て替えるよりリフォームを考えている人にはチャンスだ。県内での利用を促したい」とPRしている。(随時掲載)

最大200万円の補助金も